

市場の失敗 3 . 自然独占

社会にとって重要な財またはサービスの供給が自然独占の状態にある場合，料金規制，あるいは公営化が必要となる．

I. 自然独占の意味： 単一の企業が，複数の企業によるよりも低い費用で市場全体の需要を満たすことができることから生じる独占

A. 費用の条件

1. 費用逡減産業： 平均総費用の逡減
2. 平均総費用を下回る限界費用

B. 自然独占の発生する実際の例

1. 大きい固定費用と小さい限界費用
2. 例： 水道，電気，鉄道，道路

II. 問題とその対策

A. 二つの帰結

1. 独占と死荷重
2. 企業の損失

B. 対策についての基礎理論

1. 公営
2. 価格規制
 - a. 限界費用に基づく価格設定
 - (1) 損失 — 補助金または二部料金制による埋め合わせ
 - (2) 死荷重の発生を回避
 - b. 平均総費用に基づく価格設定 — 独立採算
 - (1) 損失の発生を回避
 - (2) 死荷重 — 次善の解決策

III. その他の問題

- A. 企業内部の効率性の向上
- B. 政策の失敗，あるいは政府の失敗

参考文献

教科書．第 10 章，第 1 節，155–156 ページ．